

施策評価(平成30年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	2	地域とともに歩む魅力ある産業の育成
施策	19	商業
基本方針		
<p>商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。</p>		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
起業・創業・開業支援	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
大規模商業施設との共存共栄策の検討	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
共同販促事業の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
農商観連携事業の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
農商観連携施設の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
人材育成・定着支援の実施	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
産学官金労言の連携	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
大規模商業施設との連携体制の構築	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
買い物弱者対策の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
空き店舗の情報共有化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
商店会等共同事業・イベントの充実	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
羽村駅西口土地区画整理事業の推進	計画どおり完了	A	A	A	レベルアップ
中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
羽村駅自由通路の拡幅等整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
主要幹線道路の整備	計画を見直し完了	A	A	B	レベルアップ
産業福祉センター機能の充実・拡大	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

施策19「商業」では、16事業について評価を実施した。

進捗状況については、「起業・創業・開業支援」などの15事業が「計画どおり完了」であるが、「主要幹線道路整備」は、引き続き課題の整理などに取り組む必要があることから、「計画を見直し完了」と評価している。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、全てA(適切なもの)と評価している。

有効性(成果)については、「主要幹線道路の整備」において、具体的な整備計画等の検討に至っていないことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価しており、その他の事業については、A(適切なもの)と評価している。

本施策の基本方針は「商店の独自性や魅力向上のための個別支援の実施を行うとともに、商店会の賑わい創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図る」ことであり、「起業・創業・開業支援」においては、創業支援補助金交付要綱の改正やセミナーの開催などにより、起業・創業・開業の支援体制を構築したことや、「共同販促事業の推進」においては、連携事業や、イベントの実施など、集客効果の高い共同販促事業を実施したことなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 起業・創業・開業支援		平成 26 年	期間設定5年	自治事務(市独自)	その他	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	産業振興課					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	19	商業	管理No.	90

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	空き店舗の解消、商店会の活性化を図るため、市内の空き店舗を活用して起業・創業・開業を希望する事業者を支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市創業支援補助金交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	創業支援スペースサロンの運営	同左	同左	同左
	創業支援コーディネーターの配置による相談 延べ126人 (平成29年12月末現在)	同左 延べ150人	同左 延べ150人	同左 延べ150人
	創業支援セミナー等の開催 5回	同左 6回	同左 6回	同左 6回
	創業支援補助金の運用 0件	同左 1件 制度の見直し 創業支援事業計画の見直し	同左 1件	同左 1件

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	70H	1人	70H	1人	70H	1人	70H
主事・主任職	2人	80H	2人	80H	2人	80H	2人	80H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	18,699	19,773	19,773	19,773
人件費(係長職)	348	348	348	348
人件費(主任・主事職)	533	533	533	533
総事業費(合計)	19,580	20,654	20,654	20,654
国庫支出金				
都支出金		9,734	9,734	9,734
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	19,580	10,920	10,920	10,920
財源内訳(合計)	19,580	20,654	20,654	20,654

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

創業支援補助金交付要綱を改正し、創業・事業承継後の対象者を3年から5年に、補助率を1/2から2/3に拡大した。利用実績は2件であった。

創業支援スペースiサロンの運営に加え、創業支援コーディネーターによる相談(相談者数延246人)や、創業支援セミナー等を6回(参加者数66人)開催した。これらを通じて、市内の空き店舗を活用して起業・創業・開業を希望する事業者を支援した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	19,773	▲ 1,344	18,429	17,826	96.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	70 H	1人	70 H
主事・主任職	2人	80 H	2人	80 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○創業支援スペースiサロンの運営 ○創業支援コーディネーターによる相談 延150人 ○創業支援セミナー等の開催 6回 ○創業支援補助金の運用 1件 創業支援制度の見直し ○創業支援事業計画の見直し	○創業支援スペースiサロンの運営 ○創業支援コーディネーターによる相談 延246人 ○創業支援セミナー等の開催 6回 66人 ○創業支援補助金の利用実績 2件 創業支援制度の見直し ○創業支援事業計画の見直し

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

産業振興計画を推進していく上で、起業・創業・開業の支援体制を構築していくことが施策展開として必要であり、現在の事業を継続していくことが有効である。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

創業支援補助金の審査方法の簡素化に努めるとともに、創業支援スペースiサロンにおける空き店舗情報の掲示をはじめ、創業支援コーディネーターによる相談事業を実施することにより、今後も起業・創業・開業の希望者を支援する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 大規模商業施設との共存共栄策の検討		平成 25 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	91

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	大規模商業施設と市内商店との共同事業の実施、大規模商業施設の集客力を活用した共同イベントの開催など、共存共栄を図ることができる事業を検討し取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	大規模商業施設の情報の共有	同左	同左	同左
	市内商店による共同イベントの開催	アンテナショップの検討、運用	アンテナショップの運用	同左
	共通ポイントカード事業等の導入について検討	同左	導入の検証、導入準備	共通ポイントカード事業等の導入
	はむらグルメのPR、激辛フェスの開催など商店の魅力を引き出すイベントの開催	同左	同左	同左
		※事業を検討する中で事業費を算出		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	50	150	150	150
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	50	150	150	150
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	50	150	150	150
財源内訳(合計)	50	150	150	150

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

はむらグルメのPRや激辛フェスの開催など、商店の魅力を引き出すイベントを実施したほか、イオンタウンやさくらモールなどの大規模商業施設については、出店者と情報を共有しながら、大規模事業者と小規模事業者の共存共栄策の検討を行った。
アンテナショップの検討、運用については、大規模商業施設の出店状況等を踏まえて、継続して検討することとしたほか、共通ポイントカード事業等の導入について、検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○大規模商業施設の情報共有 ○アンテナショップの検討、運用 ○共通ポイントカード事業等の導入について検討 ○はむらグルメのPR、激辛フェスの開催など商店の魅力を引き出すイベントの開催	○大規模商業施設の情報共有 ○アンテナショップの検討、運用 ○共通ポイントカード事業等の導入について検討 ○はむらグルメのPR、激辛フェスの開催など商店の魅力を引き出すイベントの開催

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

大規模商業施設と市内商店との共同事業の実施、大規模商業施設の集客力を活用した共同イベントの開催などは共存共栄を図る上で必要であり、継続して検討する。また、商店の独自性や魅力を高めるための支援を引き続き実施する。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、大規模商業施設等の出店動向を注視するとともに、商工会と協働して大規模商業施設と商店等の共存共栄策の研究を進める。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 共同販促事業の推進			年			
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課		産業振興課				
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	92

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	にぎわい商品券事業などの共同販促事業を推進します。また、市内商店などで利用可能な共通ポイントカード事業等を検討し、実施します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市市内共通商品券発行事業補助金交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	にぎわい商品券事業(第10弾)の支援 加盟店456店舗 キャンペーン実施店 38店舗	商工会と事業内容の検討・支援	同左	同左
	はむらイルミネーションで激辛フェスの開催 15店舗	同左 15店舗	同左 15店舗	同左 15店舗
	はむらにぎわい音楽祭等でスタンブラリーの実施 40店舗	同左 41店舗	同左 42店舗	同左 43店舗
	共通ポイントカード事業等の検討	同左	同左	共通ポイントカード事業等の導入

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H	1人	200H	1人	200H
主事・主任職	1人	200H	1人	200H	1人	200H	1人	200H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	30,500	28,150	28,150	28,150
人件費(係長職)	498	498	995	995
人件費(主任・主事職)	666	666	666	666
総事業費(合計)	31,664	29,314	29,811	29,811
国庫支出金				
都支出金	1,750	1,646	1,646	1,646
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	29,914	27,668	28,165	28,165
財源内訳(合計)	31,664	29,314	29,811	29,811

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

商工会とともに市内共通ポイントカード事業の検討を行った。
はむらイルミネーションでの激辛フェスの開催、はむらにぎわい音楽祭等でのスタンプラリーの実施を支援した。
このほか、スクラッチ事業について検討・支援を行った。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	28,150		28,150	27,940	99.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	1人	200 H	1人	200 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○商工会と事業内容の検討・支援 ○はむらイルミネーションで激辛フェスの開催 15店舗 ○はむらにぎわい音楽祭でスタンプラリーの実施 41店舗 ○共通ポイントカード事業等の検討	○商工会と事業内容の検討・支援 ○はむらイルミネーションで激辛フェスの開催 20店舗 ○はむらにぎわい音楽祭等でスタンプラリーの実施 44店舗 ○共通ポイントカード事業等の検討 ○スクラッチ事業の検討・支援

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法率) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

産業振興計画を推進していく上で、連携事業、イベントの推進は必要であり、集客効果の高い共同販促事業の実施は有効である。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、より有効な共同販促事業を研究・検討し、実施する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署		産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 農商観連携事業の推進		不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課							
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	93	

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	農業、商業、観光が連携し、花と水のまつり等のイベント会場や観光案内所等でのマルシェの開催など、市内の逸品や農産物等の販売の取組みを推進します。また、市内商店・飲食店での羽村市産農産物の利用促進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	農商観とのマッチングのコーディネート検討	農商観とのマッチングのコーディネート 4件	同左 4件	同左 4件
	産業祭での激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所ではむらマルシェの開催 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	商業協同組合の実施する15日市の支援 6回	同左 6回	同左 6回	同左 6回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H	1人	50 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	249	249	249	249
人件費(主任・主事職)	167	167	167	167
総事業費(合計)	416	416	416	416
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	416	416	416	416
財源内訳(合計)	416	416	416	416

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

はむらイルミネーションイベントにおける「激辛フェス」において、羽村産の唐辛子を使用したメニューを提供する農商観連携事業を実施した。また、「はむら花と水のまつり」期間中に観光案内所ではむらマルシェを開催したほか、商業協同組合による15日市の開催(6回)を支援した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○農商観とのマッチングのコーディネート 4件 ○産業祭での激辛メニューの特別企画の開催や観光案内所ではむらマルシェの開催2回 ○商業協同組合の実施する15日市の支援6回		○農商観とのマッチングのコーディネート 3件 ○観光案内所ではむらマルシェの開催 ○商業協同組合の実施する15日市の支援 6回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

農業、商業、観光それぞれの分野における振興につながり、産業全体を活性化できる事業となっている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

「激辛フェス」定着に向け、農商観マッチング支援の増加に努めるほか、市外からの来訪者の増加にも繋がる、農業、商業、観光の連携充実について関係団体と継続して協議する。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 農商観連携施設の整備		年	継続	自治事務(市独自)	その他	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課		産業振興課				
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	94

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	市内の農産物や名産品・特産品を販売し、あわせて市の地域資源、観光情報の発信を、一年を通じて行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備に取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	サイクリングステーションと一体的な施設として基本構想の策定	サイクリングステーションと一体的な施設の事業者の選定 ※事業を検討する中で事業費を算出	サイクリングステーションと一体的な施設の整備	サイクリングステーションと一体的な施設の運用

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	1人	25H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	249	249	249	249
人件費(主任・主事職)	84			
総事業費(合計)	333	249	249	249
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	333	249	249	249
財源内訳(合計)	333	249	249	249

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市内の農産物や名産品、特産品を販売し、あわせて市の地域資源、観光資源の発信を一年を通じて行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備に向けて取り組んだ。なお、サイクリングステーションとの一体的な施設も含め検討する必要があることから、引き続き、事業所の選定・検討に取り組むこととした。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○サイクリングステーションと一体的な施設の事業者の選定	⇒ ○サイクリングステーションと一体的な施設の事業者の選定・検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

産業振興計画を推進していく上で、市内の農産物や名産品・特産品の販売、市の地域資源、観光情報の発信を行う観光案内所の機能を有する農商観連携施設の整備は必要であるため、引き続き検討する。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

産業関連施設全体の構想を検討する中で、農商観連携施設の整備に努める。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 人材育成・定着支援の実施			年			
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課		産業振興課				
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	95

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	研修会やセミナーの開催などを通じて、商店等の人材確保・育成を支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	技術力向上及び人材育成支援助成制度 35件(平成29年12月末現在)	同左 36件	同左 36件	同左 36件
	商工会が行うセミナー等の支援 9件(平成29年12月末現在)	同左 10件	同左 10件	同左 10件

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	15H	1人	15H	1人	15H	1人	15H
主事・主任職	2人	40H	2人	40H	2人	40H	2人	40H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	1,000	1,000	1,000	1,000
人件費(係長職)	75	75	75	75
人件費(主任・主事職)	267	267	267	267
総事業費(合計)	1,342	1,342	1,342	1,342
国庫支出金				
都支出金		500	500	500
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,342	842	842	842
財源内訳(合計)	1,342	1,342	1,342	1,342

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

技術力向上及び人材育成支援助成制度については29件の支援を行った。また、研修会やセミナー等の開催を通じて、商店等の人材確保及び育成を支援した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	1,000		1,000	775	77.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	15H	1人	15H
主事・主任職	2人	40H	1人	40H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○技術力向上・人材育成支援助成制度 36件 ○商工会が行うセミナー等の支援 10件	⇒ ○技術力向上及び人材育成支援助成制度 29件 ○商工会が行うセミナー等の支援 5件

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

産業振興計画を推進していく上で、商店等の人材育成・定着支援の実施は必要であり、施策の展開として有効である。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

研修会やセミナーの開催などを企画し、商店等の人材確保・育成の支援を引き続き実施する。また、実績が目標を下回っているため、商工会と改善策を検討する。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 産学官金労言の連携		不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	96

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	産学官金労言の多様な連携の基盤づくりと強化を図り、イベントの実施や新たな事業の創出、体制の強化に繋げていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	羽村地域産業振興懇談会の開催	既存イベントに取り入れる事業について産学官金労言での検討	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	150	150	150	150
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	150	150	150	150
財源内訳(合計)	150	150	150	150

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

7月と3月に羽村地域産業振興懇談会を開催し、市内金融機関をはじめとした産業支援機関と相互に情報共有を行うなどの連携強化を図り、イベントの実施や新たな事業の創出、体制の強化に繋がった。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○既存イベントに取り入れる事業について産学官金労言での検討	⇒ ○既存イベントに取り入れる事業について産学官金労言での検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

産業振興計画を推進する上で、産学官金労言の多様な連携の基盤づくりと強化が必要であり、産業振興懇談会の場が体制の強化に繋がる契機となっており、大変有効である。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き産業支援機関と連携強化を図るとともに、国や東京都の一層の参画を働き掛ける。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 大規模商業施設との連携体制の構築		年	その他	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	97

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	大規模商業施設と市内の商店との継続的な連携体制を構築します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	商工会や商業協同組合等の関係機関との連携組織体制の構築について検討 大規模商業施設の情報の共有	商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制を構築 同左	商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制の運用 同左	同左 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	50	50	50	50
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	50	50	50	50
財源内訳(合計)	50	50	50	50

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

商工会や商業協同組合等の関係機関との連携組織体制の中で大規模商業施設の出店計画の変更等の情報共有を図りながら、対応を協議した。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制を構築	⇒ ○商工会や商業協同組合等の関係機関と連携組織体制を構築

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性() <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性() <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性() <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

大規模商業施設の出店について、既存の商店街との共存を図るため、商工会や商業協同組合等の関係機関との連携組織体制の構築は必要である。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き大規模商業施設の出店動向の把握に努め、大規模商業施設と商店等の連携強化を図る。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 買い物弱者対策の推進		平成 24 年	継続	自治事務(市独自)	その他	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	98

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	高齢者などの買い物弱者への宅配サービス、電話注文等の取組みを推進します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	商工会と連携した宅配サービスの実施 利用者数112人 利用件数336件 利用金額760,433円 (平成29年12月末現在)	同左 利用者数125人 利用件数400件 利用金額900,000円	同左 利用者数130人 利用件数450件 利用金額1,000,000円	同左 利用者数135人 利用件数500件 利用金額1,100,000円

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	750	765	765	765
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	900	915	915	915
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	900	915	915	915
財源内訳(合計)	900	915	915	915

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

高齢者などの買い物弱者への宅配サービス、電話注文等の取組みを推進した。利用件数は226件、利用者数は127人、利用金額は489,631円であり、利用人数は目標数値に達したが、頻回利用者の実績が減少したことから、利用件数・利用金額は実績のおりとなった。より買い物しやすい環境づくりについて、商工会・商店会等との協議・検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	765		765	765	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	30 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○商工会と連携した宅配サービスの実施 利用者数 125人 利用件数 400件 利用金額 900,000円	⇒ ○商工会と連携した宅配サービスの実施 利用者数 127人 利用件数 226件 利用金額: 489,631円

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

商店等の協力を得て、商工会が主体となって「はむらいい市場」が運営できた。利用人数は目標数に達したものの利用件数と利用金額が伸びなかったが、消費者の自立を促進し、高齢者などが安心して買い物できる環境づくりの推進が図られた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

取扱商品や登録店舗の増、チラシ配布回数の増を図るため、市民が利用する施設・団体等への協力要請を行う。市民の利用を増やすためには、チラシ等でのPRとともに、消費者ニーズのある商品を揃える必要があり、登録店舗を増やすなど、商品の選択肢を広げる取組みを商工会と検討する。また、社会福祉協議会等の福祉団体を通じて制度の周知を行い、利便性の向上を図る。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			産業企画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 空き店舗の情報共有化		不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	99

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	空き店舗情報を収集、体系化し、データベースとして取りまとめ、情報の共有化を図ります。また、情報発信により広く空き店舗活用希望者を募集する事業を検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	未利用地等情報管理システムの活用および市内空き店舗等の実態調査	同左	同左	同左
	不動産業団体との連携による市内空き店舗情報の提供 8店舗	同左 20店舗	同左 20店舗	同左 20店舗

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	45H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	150			
総事業費(合計)	300	150	150	150
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	300	150	150	150
財源内訳(合計)	300	150	150	150

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

空き店舗情報を収集、体系化し、データベースとして取りまとめ、情報の共有化を図った。
産業福祉センターにおいて提携不動産団体の空き店舗情報を掲載したが、不動産団体からの空き店舗情報の提供が6店舗に留まったため、実績は目標数に達しなかった。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	30 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○未利用地等情報管理システムの活用および市内空き店舗等の実態調査 ○不動産業団体との連携による市内空き店舗情報の提供 20店舗	○未利用地等情報管理システムの活用および市内空き店舗等の実態調査 ○不動産業団体との連携による市内空き店舗情報の提供 6店舗

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

羽村市の中心市街地における空き店舗調査を実施しており、状況により土地所有者に意向を確認する等、産業振興計画を推進していく上で空き店舗解消に努めている。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

空き店舗状況調査は問合せに対応する目的をはじめ、市内景況感を把握するためにも毎年度実施しており、今後も継続する。また、産業福祉センターへの掲示による不動産情報の提供については、QRコードの活用なども検討し、更なる充実に向け取り組む。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 商店会等共同事業・イベントの充実			年			
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	100

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	商店会などが共同で行うイベントや販売促進活動等の充実にに向けた取組みを支援し、商店会活性化を推進します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市補助金等交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	商店会などが実施するイベントの支援 にぎわい音楽祭 4,350人 スタンプラリー抽選会 252人 マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ 500人 15日市 年6回	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	3,500	3,150	3,150	3,150
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	167	167	167	167
総事業費(合計)	3,817	3,467	3,467	3,467
国庫支出金				
都支出金	1,750	1,646	1,646	1,646
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,067	1,821	1,821	1,821
財源内訳(合計)	3,817	3,467	3,467	3,467

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

商業協同組合による15日市の開催(6回)を支援するとともに、マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ(参加者数2,367人)の開催及び東口・本町西口商店会が実施する、にぎわい音楽祭(参加者数4,500人)及びスタンプラリー抽選会(参加者数403人)の開催を支援した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	3,150		3,150	2,994	95.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30 H	1人	30 H
主事・主任職	1人	50 H	1人	50 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○商店会などが実施するイベントの支援 にぎわい音楽祭 4,350人 スタンプラリー抽選会 252人 マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ 500人 15日市 年6回	⇒ ○商店会などが実施するイベントの支援 にぎわい音楽祭 4,500人 スタンプラリー抽選会 403人 マミーショッピングセンターハロウィンフェスタ 2,367人 15日市 年6回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 要 性 性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 法 性 性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 果 性 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

それぞれ事業が定着し、参加者が増加傾向にある。商店会活性化に効果的な事業となっている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

魅力ある事業の実施に向け、都補助金の確保等に努め、実施主体の支援を図る。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署		区画整理部		区画整理総務課、区画整理推進課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 羽村駅西口土地区画整理事業の推進 ※施策27と重複		平成 15 年		その他		自治事務	
01						業務委託(一部)	
02						プロジェクト	
03							
04							
05							
関連課							
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分		19 商業		管理No. 101	

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店街のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	土地区画整理事業により、羽村駅西口地区の市街地整備を推進し、良好な都市環境の創出を図ります。
根拠法令	土地区画整理法
条例	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業施行規程 ほか 関連条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償の実施 ※事業費については、施策27-No.1に含まれます。	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H	3人	1,876 H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	757,245	942,906	685,500	
人件費(係長職)	27,977	27,977	27,977	
人件費(主任・主事職)	18,736	18,736	18,736	
総事業費(合計)	803,958	989,619	732,213	
国庫支出金	47,600	79,500	79,200	
都支出金	16,200	27,000	28,350	
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	740,158	883,119	624,663	
財源内訳(合計)	803,958	989,619	732,213	

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 m² における1 m² のコストは 円
 ※ 対象者: 施行地区内計画人口

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	羽村駅西口土地区画整理事業は、ハード事業の整備も着実に進んでおり、さらに今年度から2か年での業務委託契約により、計画的に事業の進展を図ることとしており、引き続き重要な局面にある。 個々の権利者ととともに市民に向け事業の進捗状況など正確な情報を発信し、事業の推進を図っていくこと。 また事業計画、資金計画等に関しては、新たな特定財源の確保も積極的に研究しながら、財政担当とも調整を図り、事業計画変更の事務手続きを具体的に進めていくこと。

②活動実績

今年度は、平成27年度から着手してきたハード整備事業の実績を踏まえつつ、更なる進展を図るため、移転実施計画を基本として優先整備地区を中心に、建物等の移転や道路築造工事など、計画的に整備推進を図るとともに、本体業務と併行して、平成29年度から2か年の工事として取り組んできた、都市計画道路3・4・12号線等への擁壁設置及び、造成工事が9月に完了した。
 これらの事業推進にあたっては、関係権利者をはじめ、区内居住者への丁寧な説明、また情報紙「まちなみ」を通じて、正確な情報の提供に努めている。
 また、事業期間、資金計画等の見直しに関しては、新たな特定財源となる国庫補助の導入を視野に、引き続き、事業計画変更の事務手続きに向けて、現事業計画における期間満了(平成32年度)を踏まえた見直しを基本として、国・東京都など関係機関との協議・調整を鋭意、進めている。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	942,906	▲ 7,369	935,537	821,136	87.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	3人	1,876 H	3人	1,876 H
主事・主任職	3人	1,876 H	3人	1,876 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 30件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m(笠コンクリート部分) ○建物等の移転 23棟	○事業計画変更の手続き等 ○仮換地の指定 30件 ○道路築造工事 3件 ○都市計画道路3・4・12号線擁壁設置等 約100m(笠コンクリート部分) ○建物等の移転 23棟

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 (集団移転手法を用いた建物移転を実施し、事業の効率化を図っている)	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

平成26年度策定の移転実施計画を基本に、ハード整備事業を計画的・効率的に進め、建物等の移転を行い、都市計画道路の用地や権利者の移転先を確保するとともに、区画道路の整備や擁壁の設置など、着実な事業の進展を図った。

Action(改善)**8.今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

本事業の推進にあたり、関係権利者のご理解・ご協力を得られていない部分もあることから、引き続き、関係権利者に対して丁寧な説明に努めていくとともに、本事業の進捗状況を見極めながら、代替案の検討も含め取組んでいく。

【今後の取組方針】

本事業計画及び移転実施計画を踏まえ、引き続き関係権利者への丁寧な説明に努めるとともに、関係機関等との協議・調整を進め、計画的かつ効率的な事業推進を図っていく。
社会資本整備総合交付金、起債などの事業資金を活用し、円滑かつ効率的な事業執行に努めていくとともに、市負担額の軽減が図れるよう、引き続き、新たな補助金導入に向けた検討を進めていく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市建設部			都市計画課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討 ※施策27と重複掲載	平成 29 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課		産業振興課				
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19 都市基盤整備	管理No.	102	

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	大規模商業施設と市内商店との共同事業の実施、大規模商業施設の集客力を活用した共同イベントの開催など、共存共栄を図ることができる事業を検討し取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	中心市街地等活性化施策(まちづくりガイドライン)の検討	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	まちづくりガイドラインの策定	まちづくりガイドラインの運用

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	40 H	1人	80 H	1人	60 H
主事・主任職	1人	38 H	1人	30 H	1人	60 H	1人	45 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			-	-
人件費(係長職)	249	199	398	299
人件費(主任・主事職)	127	100	200	150
総事業費(合計)	376	299	598	449
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	376	299	598	449
財源内訳(合計)	376	299	598	449

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

- ①検討会議開催(8/30・12/27)
- ②産業振興課と情報交換、区画整理部に進捗状況確認(6月・7月・1月・3月)
- ③産業振興課に空き地情報等確認、区画整理部に進捗状況確認(9月)
- ④区画整理部に進捗状況確認(11月)

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40 H	1人	40 H
主事・主任職	1人	30 H	1人	30 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○検討会議 2回 ○関連する他施策との調整 4回		○検討会議 2回 ○関連する他施策との調整 6回

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

駅周辺を中心としたにぎわいのある中心市街地の創出を図るため、関係各課と連携を図り土地利用状況の把握に努めるとともに、意見交換を行い、ガイドライン作成に向けた検討を行うことができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

関係各課との意見交換に努めてきたところであるが、今後は、庁内に新たに設置された、「神明台2丁目まちづくり推進会議」に実施主体を移行し、検討を進めていくこととする。
 「神明台2丁目まちづくり推進会議」において、これまでの検討内容を基に、ガイドラインの作成に向けた検討を進めていく。

1.基本項目		作成部署		都市建設部			建築課
事業名		開始年度		実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 羽村駅自由通路の拡幅等整備 ※施策19に重複掲載		平成	17年	継続	自治事務	業務委託(全部)	○
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課		土木課、企画政策課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	29	道路	管理No.	103	

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の利便性や安全性の向上を図るため、羽村駅自由通路の拡幅等整備を進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	拡幅等整備の推進 店舗移転工事 自由通路拡幅工事	同左 同左 東口階段工事	同左 同左	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	人	H
主事・主任職	1人	240H	1人	240H	1人	240H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	253,048	602,219	305,150	
人件費(係長職)	1,194	1,194	1,194	
人件費(主任・主事職)	799	799	799	
総事業費(合計)	255,041	604,212	307,143	
国庫支出金				
都支出金	24,750	138,395		
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	44,800	250,000	213,831	
起債				
一般財源(人件費含む)	185,491	215,817	93,312	
財源内訳(合計)	255,041	604,212	307,143	

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	10,846	円
イ 対象者	55,710	人における1人あたりのコストは、	10,846	円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
※ 対象者:		の コストは		円

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

関係部署における総合調整を行い、自由通路拡幅に関する平成30年度施行協定(平成30年4月2日)を締結し、早期完成を目指し、JRに対して働きかけを行うとともに、拡幅部に設置される掲示板や案内図等の設置について関係部署と調整を行い、電源の確保等の対応を行った。
また、工期の延伸のため、変更協定(平成30年6月19日)を締結した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	602,219	▲ 193,854	408,365	362,458	88.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	240 H	1人	240 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<p>○拡幅等整備の推進</p> <p>○自由通路拡幅工事</p> <p>○東口階段工事</p>	<p>⇒ ○拡幅等整備の推進 関係部署における総合調整を行い、自由通路拡幅に関する平成30年度施行協定(平成30年4月2日)を締結し、早期完成を目指し、JRに対して働きかけを行った。また、工期の延伸のため、変更協定(平成30年6月19日)を締結した。</p> <p>⇒ ○自由通路拡幅工事 拡幅部分に設置される掲示板や案内図等の設置について関係部署と調整を行い、電源の確保等の対応を行った。また、拡幅部分の一部を開放し、利用を開始することで、混雑時の緩和を図った。</p> <p>○東口階段工事 工事着手し、令和元年度末完了に向け、順調に進捗している。</p>

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

今後も、JR東日本に対し、東口階段改修の早期完了を働きかけるとともに、コストや工事工程及び駅利用者の安全対策等に注視しながら協議を継続する。
関係省庁との調整を綿密に行い、財源の確保に努める。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

自由通路の拡幅整備については、平成30年11月末に拡幅部分の一部を開放するとともに、東口階段改修工事にも着手しており、早期の完了に向け、JR東日本と協議・調整を進めていく。
誰もが安全に通路を利用できるよう、自由通路の早期全面開通を目指していく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 主要幹線道路の整備 ※施策29と重複		不明	年 継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No.	104

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	市道第101号線・102号線(市役所通り)については、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討	同左	関係機関との協議・調整	実施設計および測量

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	50	50	50	50
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	50	50	50	50
財源内訳(合計)	50	50	50	50

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市道第101・102号線の再整備については、今までも様々な視点から検討を行っているが整備に至っていない。このことから社会情勢の変化など、様々な視点から問題点等の抽出を実施している。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討	○市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ道路舗装の修繕を実施した。再整備に向けた検討については、引き続き、課題整理に取り組みメインストリートにふさわしい道路環境となるよう検討を続ける。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていく。また、道路整備に合わせ、景観及び防災面から無電柱化の実現に向け東京都と調整を図る。

【今後の取組方針】

市道第101・102号線(市役所通り)については、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めて行く。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部		産業振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法
00 産業福祉センター機能の充実・拡大			年		
01			年		
02			年		
03			年		
04			年		
05			年		
関連課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	19	商業	管理No. 105

2.事業の概要

施策の基本方針	商店の独自性や魅力を高めるための個別支援を行うとともに、商店会のにぎわいの創出を支援することで、活気に満ちた商業の振興を図ります。
事業内容	市内産業振興の中核的な拠点となる施設として産業福祉センターの再整備を検討し、機能の充実・拡大を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	産業福祉センターの市内企業利用 359件 (平成29年12月末現在)	同左 500件 施設利用・再整備についての検討 検討結果の取りまとめ	同左 500件 検討結果の反映 東京都との土地借用契約の更新	同左 500件 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	70 H	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	1人	20 H	1人	60 H	1人	60 H	1人	60 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	10,620	9,797	-	-
人件費(係長職)	348	498	498	498
人件費(主任・主事職)	67	200	200	200
総事業費(合計)	11,035	10,495	698	698
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	11,035	10,495	698	698
財源内訳(合計)	11,035	10,495	698	698

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 188 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 円 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input type="checkbox"/>	有 <input checked="" type="checkbox"/>	指示事項・改善内容 東京都との借用契約期間が令和2年6月に満了することから、今後の施設の方向性や再整備の方針について、東京都とも連携を図り、商工会などの関係団体の意見も広く聴取しながら総合的検討を進め、計画を取りまとめること。
-------------------------------	--	--

②活動実績

産業福祉センターは、市内の産業に携わる人々の活動を支援する産業振興拠点として重要な施設となっており、研修会、健康診断、懇親会等の場として市内の多くの企業等に利用されており、平成30年度の市内企業の利用件数は456件であった。また、来年6月に借用契約期間が満了となることから、引き続き東京都と新たな貸借契約について協議しているが、明確な回答は得られていない。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	9,797	▲ 768	9,029	8,459	93.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	1人	60 H	1人	60 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○産業福祉センターの市内企業利用 500件 ○施設利用・再整備についての検討・検討結果の取りまとめ		○産業福祉センターの市内企業利用 456件 ○施設利用・再整備についての検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) (<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) (<input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) (<input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

実績が目標を下回ったが、市内企業の振興のための中核施設として、有効な役割を果たしている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

市内企業振興のための中核施設としての機能を充実させるため、再整備について継続的に検討し、産業福祉センター機能の充実・拡大を図る。また、借用契約期間満了後も引き続き借用できるよう、東京都へ働き掛ける。